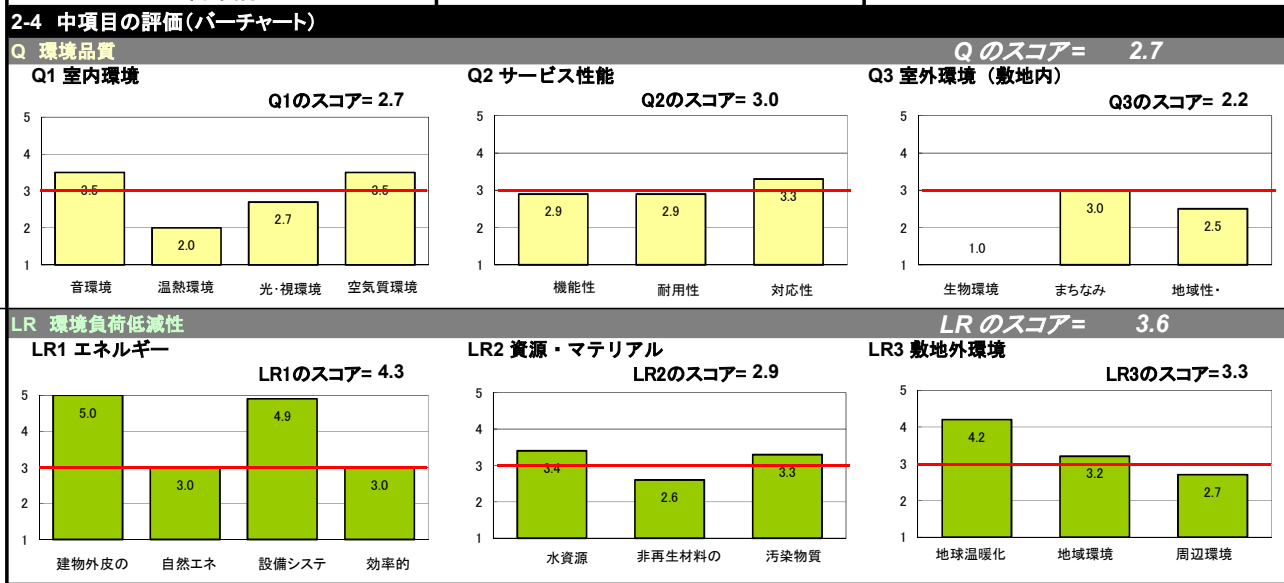
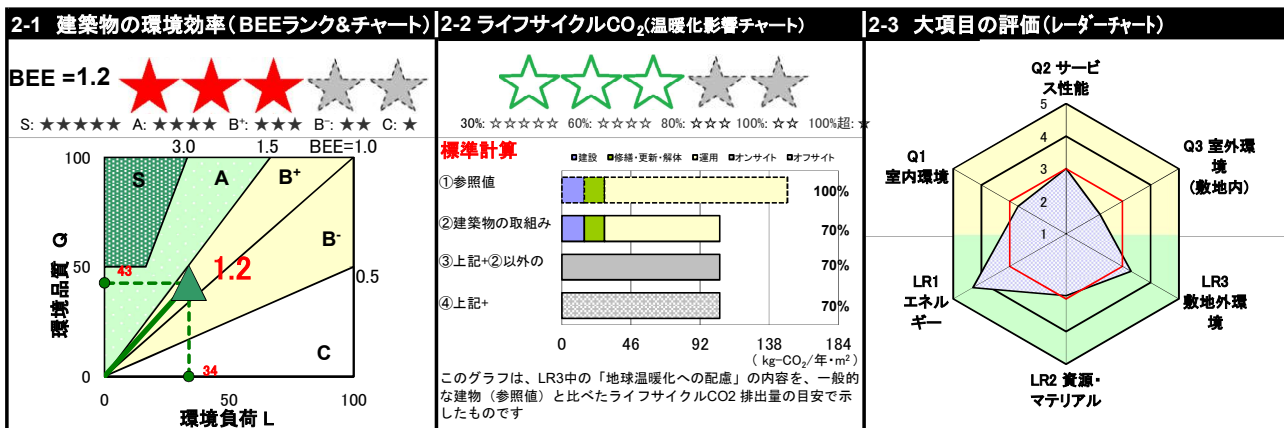


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	藤沢駅改良新築工事	階数	地上2F
建設地	神奈川県藤沢市南藤沢1番1号	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域・防火地域	平均居住人員	130,000 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、飲食店、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028/1/31 予定	評価の実施日	2022年12月06日
敷地面積	4,133 m ²	作成者	株式会社フジタ
建築面積	2,415 m ²	確認日	2023年01月12日
延床面積	2,325 m ²	確認者	株式会社フジタ



3 設計上の配慮事項		
総合 藤沢駅を商業地域内に建設しております。		その他 特になし
Q1 室内環境 開口部遮音性能:T-2以上。 JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 階高:3.9m以上。 執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース+自動販売機等の設置 事務室の天井高2.7m以上	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー BPI=0.59 BEI=0.63、LED照明設備を導入している。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率70% 燃焼機器を使用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される